

定期試験期間(8月2日(火)～8月8日(月)) 時間割表 (時間割コード順)
 ※教室を使用する試験・授業のみ掲載しています。オンラインによる試験・授業や休講の場合については通常掲載していません。
 ※「試験室」については、授業時の教室から変更となっている場合がある為、必ず下記表で確認してください。

2022/7/25 更新

時間割所属	時間割コード	曜日	時限	開講科目名称	担当教員	「試験」実施の有無	試験室	試験日	時限	試験時間(分)	筆記用具以外の持込許可物の有無	左記の具体的な携行可能品	「授業」等実施の有無	教室	授業日	時限	備考
建築学専攻	2T401	水曜日	2	建築環境造形特論B	槻橋 修	無							有	C1-201	8月3日	2限	
建築学専攻	2T407	月曜日	1/2	固体計算力学Ⅱ	大谷 恭弘	無							有	C1-301	8月8日	1限/2限	補講
建築学専攻	2T410	木曜日	2	防振耐震工学2	藤谷 秀雄	無							有	C1-201	8月4日	2限	
建築学専攻	2T416	月曜日/木曜日	1・2/3・4	設計演習特論B	槻橋 修	無							有	研究室	8月4日	3限/4限	
建築学専攻	2T418	火曜日	1	空間構成論2(22-)	竹内 崇	無							有	LR202	8月2日	1限	
市民工学専攻	2T453	水曜日/金曜日	2/2	コンクリート工学特論	森川 英典	無							有	LR303	8月3日	2限	
市民工学専攻	2T456	金曜日	3/4	地盤応用力学特論	竹山 智英	無							有	LR303	8月5日	4限	
市民工学専攻	2T457	水曜日	1	先端融合科学特論A(市民工学)	織田澤 利守	無							有	LR501	8月3日	1限	
電気電子工学専攻	1T503	火曜日	2	固体物性特論Ⅰ	藤井 稔	有	C2-301	8月2日	2限	60	有	関数電卓、自筆メモ(A4用紙一	無				
電気電子工学専攻	1T520	火曜日	4	量子力学特論	小野 倫也	有	LR403	8月2日	4限	90	無		無				
電気電子工学専攻	1T521	木曜日	1	プラズマ工学特論	竹野 裕正	有	LR304	8月4日	1限	60	有	授業で説明	無				
電気電子工学専攻	2T511	金曜日	5	特別講義ⅠB	田口 幹朗	無							有	C1-201※	8月5日	5限	※遠隔オンデマンド型
機械工学専攻	2T556	火曜日	2	多変数制御論ⅠⅠ	田崎 勇一	無							有	C2-202	8月2日	2限	
機械工学専攻	2T557	木曜日	4	機能素子工学ⅠⅠ	神野 伊策	無							有	C2-302	8月4日	4限	
機械工学専攻	2T559	火曜日	3	知能化生産システム論ⅠⅠ	白瀬 敬一	無							有	C4-301	8月2日	3限	
機械工学専攻	2T568	火曜日	5	科学技術英語Ⅰ	片岡 武	無							有	CAD室(3E-304)	8月2日	5限	
応用化学専攻	2T601	火曜日	1	応用物理化学2	石田 謙司	有	LR402	8月2日	1限	90	有	関数電卓のみ(スマホ不可)	無				
応用化学専攻	2T605	水曜日	1/2	高分子化学特論	南 秀人	有	C4-201	8月3日	2限	90	有	関数電卓のみ(スマホ不可)	無				
応用化学専攻	2T606	火曜日	2	反応工学特論2	西山 覚	有	C2-101	7月26日	2限	90	有	関数電卓、A4用紙1枚の自筆メモ	無				
応用化学専攻	2T607	火曜日	4	多相系移動現象論2	鈴木 洋	有	C1-201	8月2日	4限	90	有	関数電卓	無				
応用化学専攻	2T613	月曜日	4	先端融合科学特論A(応用化学)	水畑 穰	有	online	8月12日	online	non-limited	有	Any materials are available.	有	LR401	8月8日	4限	Instructions regarding the conduct of the examination will be informed by BEEF.

※システム情報学研究科開講科目については 神戸大学大学院システム情報学研究科ホームページの「在学生の方へ」を参照してください。

試験に関する注意事項

1. 受験の際、学生証を必ず携帯すること。
2. 試験室にて不正行為のあるときは、直ちに厳重なる処罰をする。
#学生便覧を参照のこと
3. 試験開始後20分間は、受験者の退室を認めない。
4. 試験開始後20分を経過した後は、受験者の入室を許さない。
5. 答案用紙は、答案の成否に拘らず各枚毎に必ず学籍番号・氏名を記入して提出すること。
6. 答案用紙に他事記載を禁ずる。もしこれを記載したときは不利益を受けることがある。
7. 試験に不必要なものは、一切かばん類の中へしまいか又は所定の場所へ置くこと。
8. 不正行為と誤解を受けるような物が机の中にある場合あるいは机上及び周辺の壁に落書きがある場合は、試験監督教員に届け出ること。
9. 一旦退室した者は、いかなる理由によっても受験者全員の答案回収が済むまで再入室を許さない。
10. 携帯電話等の通信機器を時計もしくは電卓の代わりに使用することは一切認めないので、必ず電源を切った上でかばん等の中へしまっておくこと。
試験中、これらの機器に触れている場合、ポケット等に入れている場合、もしくは机の上あるいは中に置いている場合、不正行為とみなす。
(なお、試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出すことがある。)
11. 警報等の発令により試験が実施されなかった場合、代替日はその都度掲示する。

工 学 部
工 学 研 究 科
システム情報学研究科